

国際協力フェスタ 地球市民どんたく2013

報告書



私の一歩で
つながる世界

地球市民どんたくについて(コンセプト)

私の一歩で つながる世界

経済や環境など国際的な相互依存関係が強まる中、国際協力・国際交流に対する市民の理解や関心を高めるとともに、地元福岡で活動するNGO等の相互ネットワークの構築を目的に毎年このイベントを開催してきました。15回目を迎えた2013年は「私の一歩でつながる世界」のサブタイトルの下、誰にでもできる国際協力から各団体の活動内容紹介まで、楽しみながら学べる国際協力フェスタを目指しました。

組織

福岡をベースに国際協力・国際交流活動を行っているNGOなど20団体(JICA九州を含む)で実行委員会を組織し、例年通り公益財団法人福岡国際交流協会が事務局を務めました。

主催:「地球市民どんたく2013」実行委員会、公益財団法人福岡国際交流協会

共催:独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA九州)、福岡市

協賛:公益財団法人西日本国際財団

後援:特定非営利活動法人九州海外協力協会、公益財団法人福岡県国際交流センター、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、テレビ西日本、福岡放送、TVQ九州放送

協力:公益財団法人太宰府市国際交流協会、糸島市国際交流協会、宗像地域国際交流連絡協議会、総合学園ヒューマンアカデミー福岡校

参加団体

特定非営利活動法人ISAPH、アジア開発銀行福岡NGOフォーラム、認定NPO法人ACE&ACE福岡グループ、特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク、公益財団法人オイスカ西日本研修センター、砂漠緑化団体「オールドスの風」、特定非営利活動法人KETOY.JP(キートイ・ドット・ジェーピー)、特定非営利活動法人九州海外協力協会、くるんて〜ぶの会、独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA九州)、国連NGO世界平和女性連合、特定非営利活動法人ソルト・パヤタス、NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク、日本国際ボランティアセンター九州ネットワーク、NPO法人NICE 日本国際ワークキャンプセンター、日本中国友好協会福岡支部、日本ベトナム友好協会福岡支部、ハビタット福岡市民の会/認定NPO法人日本ハビタット協会、特定非営利活動法人バングラデシュと手をつなぐ会、福岡・ウズベキスタン友好協会

企画・運営

今年度は、昨年度の参加団体全体で主体的に行う形の経験を基に、各団体が更に積極的・自発的に取り組むべく、3月の準備会議に始まり開催日の直前まで10数回の会議に、毎回7割以上の団体が参加して活発な意見交換を繰り返し、会場ディスプレイや付随イベントの企画運営など様々な役割、具体的作業も分担しつつ、参加団体の総意としてのイベントを作り上げました。また、ボランティアとしてご参加いただいた高校生からシニア世代まで約40人の皆さんには、2度の事前研修会後、イベント会場で総合案内からスタンプラリー、ワークショップ、民族衣装着付けや茶りTeaコーナーまで、当日運営に多大な貢献をしていただきました。また、会場MCとしてご協力いただいた「総合学園ヒューマンアカデミー福岡校」の6人の学生さんには会場を大いに盛り上げていただきました。



平成25年11月9日(土)・10日(日)11:00～17:00
 アクロス福岡2階 交流ギャラリー・セミナー室 福岡市中央区天神1-1-1

入場
無料

9日は16団体、10日は19団体(参加団体総数は20団体)がブース出展し、それぞれ写真パネルの展示や、資料の配付等で日頃の活動内容を紹介し、またフェアトレード商品などの販売を行いました。(2日間で約1,000人の来場)



○スタンプラリー

第1回目から行っているスタンプラリーを、今年も実施しました。今回は、出展団体の各ブースやワークショップをより回りやすくするための工夫として、景品交換の方法をこれまでの抽選から集めた点数によって選べるというポイント制に改めました。各ブースで簡単なクイズに答えてスタンプをもらうというのですが、参加者の皆さんからは楽しみながら様々な団体の人たちと言葉を交わし、活動の実際を知ることができてとても良かったと好評でした。



○メッセージコーナー

来場者のみなさんに、世界の人へ伝えたいメッセージを自由に書いていただきました。ボードは、「世界平和」を願う気持ちや「子ども」、「笑顔」などをキーワードにしたたくさんのメッセージで埋め尽くされました。



○NGO活動紹介ブース

国際協力・交流を行う20の団体毎にブースを設け、それぞれの活動を伝えるパネルや写真を展示し、フェアトレード商品や各国の小物、無農薬野菜などの販売も行いました。※【 】内は活動紹介ブースの出展日です。



健康から生まれる笑顔、つながる未来 特定非営利活動法人ISAPH

TEL:03-3593-0188 FAX:03-3593-0165

ISAPH(アイサップ)は、開発途上国の地域保健の向上を目指しています。当日は、ラオスとマラウイにおける、お母さんと子どもの健康増進を目的とした住民参加型の活動の様子をご紹介します。【11/9・10】

日本とバングラデシュの懸橋にあなたから・・・ 特定非営利活動法人KETOY.JP(キートイ・ドット・ジェービー)

TEL:092-714-0758 FAX:092-714-0758

バングラデシュの病院建設を始めとする様々な支援活動を行っています。当日は、フェアトレード製品の販売を行いました。【11/9・10】

アジアグッズ・マーケット アジア開発銀行福岡NGOフォーラム

TEL/FAX:092-920-1873

いろいろな形の国際協力をご紹介します～当日は、カレン族、ラフ族など少数民族伝統の手芸技術を受け継ぐ民芸品の販売と「政策提言活動」のご紹介をしました。【11/9のみ】

まだ見ぬ世界へ!青年海外協力隊 特定非営利活動法人九州海外協力協会

TEL:092-415-6536 FAX:092-415-6518

元青年海外協力隊で組織されたNPO法人です。JICAボランティア事業の募集説明会開催などの国内活動から、マダガスカルやカンボジアでの事業など協力隊の経験を生かしながら国内外での活動をしています。そんな隊員の活動の様子や、帰国後の活躍をご紹介します。【11/9・10】

みんなで世界の子どもを児童労働から守ろう 認定NPO法人ACE&ACE福岡グループ

TEL:03-3835-7555 FAX:03-3835-7601

すべての子どもが希望を持って安心して暮らせる社会を目指し、日本とインド、ガーナで、児童労働の予防と撤廃に取り組んでいます。売り上げの一部が寄付になるチョコやコットン製品などのオリジナル商品を販売しました。【11/9・10】

月に1度のコーヒー代節約でできる里親活動 くるんて～ぷの会

TEL:090-2711-4067

タイのバンコクのクロントイ地区にあるスラム街で現地NGO「ドウアン・プラティープ財団」を通じ経済的理由等で学校に行けない小・中学生などへの教育里親活動。活動紹介とタイの手工芸品の販売を行いました。【11/10のみ】

福岡から世界へ、世界から福岡へ 特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク

TEL/FAX:092-405-9870

国際協力・交流分野の各分野で、地球市民的観点から活動に取り組む団体・個人のネットワークの組織です。国際協力の写真・関連書籍物品など展示販売、加名団体の紹介、NGOに関する問い合わせ回答などを行いました。【11/9・10】

いろんな参加 いろんな出会い 独立行政法人国際協力機構九州国際センター(JICA九州)

TEL:093-671-6311(代) FAX:093-671-0979

「国際協力がってなんだか難しそうだな」そう感じたことはありませんか?みなさんが身近なところから参加できる国際協力のプログラムをご紹介します。ブースでは青年海外協力隊経験者がみなさんをお迎えしました♪【11/9・10】

塩を売って緑を買う男の挑戦 砂漠緑化団体「オルドスの風」

TEL:092-292-0377 FAX:092-292-0378

内モンゴル・オルドスの砂漠緑化をモンゴル塩・天然重曹・クエン酸などの天然素材の販売を通じて実現します!【11/9・10】

ルワンダの青少年に教育と自立支援を 国連NGO世界平和女性連合

TEL:092-533-2961 FAX:092-533-2963

ルワンダ内戦後の孤児、貧困者に技術教育し自立支援をサポートしています。ブースではルワンダ民芸品と手作り小物を販売しました。【11/9・10】

**世界各地で“ふるさとづくり”
公益財団法人オイスカ西日本研修センター**

TEL:092-803-0311 FAX:092-803-0322

1961年にオイスカインターナショナルが設立され今年で52年目を迎えました。西日本研修センターは1968年に完成し、これまで1300名を超える研修生を受け入れてきました。今年は7ヶ国1地域14名の研修生が入所しました。ブースでは、安全安心な野菜と海外からの雑貨を販売しました。【11/10のみ】

**人は変わる。チャンスで変わる。
特定非営利活動法人ソルト・パヤタス**

TEL/FAX:092-939-3633

ソルトは、フィリピンのごみ山周辺の貧困地区で人々が望む未来を自らで描き、自らの力で実現していけるよう子どもと女性を中心に教育と収入向上の支援を行う団体です。ブースでは、スタディツアーの相談と刺繍製品の販売を行いました。【11/9・10】

**お買い物で楽しく、チェルノブイリ支援!
NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク**

TEL/FAX:092-944-3841

1986年に起きたチェルノブイリ原発事故の被災地ベラルーシ共和国で医療活動などに取り組んでいます。ブースでは、被災者による手作り雑貨やフェアトレード商品などを販売しました。【11/9・10】

**地域発、草の根の国際協力を一歩ずつ
日本国際ボランティアセンター九州ネットワーク**

TEL:092-921-0696 FAX:092-923-1850

JVC(日本国際ボランティアセンター)の趣旨に賛同し、福岡で自主活動をしています。現在はカンボジア農村の活動を支援しています。ブースでは各地での生活改善につながるクラフトを販売しました。【11/10のみ】

NPO法人NICE 日本国際ワークキャンプセンター

TEL:070-5816-0777 FAX:092-473-1222

NICEは、国連・CCIVSに加盟し、世界各地とつながりながら、日本を中心に国内・海外ボランティアのワークキャンプを主催するNGOです。ブースでは世界各地のワークキャンププログラムをご紹介します。【11/9・10】

**今こそ、草の根の交流を大切に
日本中国友好協会福岡支部**

TEL:092-761-0604 FAX:092-761-0604

日中不再戦・平和を大きな柱として、戦争の歴史や体験を正しく伝える活動と中国への幅広い関心に応えて、中国語講座、太極拳教室をはじめ多彩な楽しい文化的活動を展開しています。【11/9・10】

**今、ベトナムがおもしろい!
日本ベトナム友好協会福岡支部**

TEL:092-861-0455 FAX:092-861-0455

今年は日本、ベトナム国交40周年です。優しくまじめな気質、豊かな自然と歴史は変わりませんが、経済発展の最中にあるベトナムは目まぐるしい変化を遂げつつありとても面白い国です。その一部をパネルで紹介しました。【11/9・10】

**九州唯一の国連機関ハビタットの活動紹介
ハビタット福岡市民の会/認定NPO法人日本ハビタット協会**

TEL:090-6770-2481 FAX:0942-41-2080

アジア太平洋地域の人間居住や都市問題に、住民や自治体と共に解決法を考え取り組んでいる国連ハビタット福岡本部の活動を、勉強会やスタディツアーなどを通して学習し、市民レベルで広報活動と募金活動を行い、支援の輪を広げる活動をしています。【11/9・10】

**アジアのこどもたちの未来のために
特定非営利活動法人 Bangladesh と手をつなぐ会**

TEL:092-844-1369 FAX:092-844-1369

Bangladeshの農村において、「教育」「保健医療」「生活向上」の分野で国際協力活動に取り組んでいます。2012年4月に看護学校設立に向けたプロジェクトが発足、現在建設が進んでいます。【11/10のみ】

**ウズベキスタンってこんな国!
福岡・ウズベキスタン友好協会**

TEL:092-864-2420 FAX:092-843-1454

ウズベキスタンからの短期留学生の受け入れやウズベキスタン友好の旅の企画、首都タシケントにあるタシケント・福岡友好協会の支援、ウズベキスタンで日本語を教えている先生たちへの支援を行っているウズベキスタンとの友好団体です。【11/9・10】



○ワークショップ

世界に届け!スポーツのチカラ
～スポーツで国際協力～

独立行政法人国際協力機構九州国際センター
(JICA九州)

「スリランカのスジーワさんのお話や
青年海外協力隊体験談のワークショップ」

【11/9(土)11:30～13:00(90分)セミナー室1】



映画『バレンタイン一揆』上映

認定NPO法人ACE&ACE福岡グループ

「ガーナのカカオ畑で児童労働の問題と出会い、
悩み、闘った日本の女の子たちの物語」

【11/10(日)13:00～15:00(120分)セミナー室1】



二胡、静吟、中国語体験、太極拳

日本中国友好協会福岡支部

「4つの中国文化体験会」

【11/9(土)14:00～16:00(120分)セミナー室1】



チェルノブイリ原発事故27年
プレスト第13回検診帰国報告会

くるんで～ぶの会

「チェルノブイリの経験を、フクシマへ」

【11/9(土)15:00～16:30(90分) セミナー室1】



出入り自由 親子参加型・・・ 今年は、「親子でも参加していただきたい!」との思いから、
参加しやすいワークショップを試みました。

アクリルたわしのワークショップ

NPO法人NICE 日本国際ワークキャンプセンター

- ・11/9(土)13:30～14:30(60分) セミナー室2
- ・11/10(日)11:30～13:00(90分) セミナー室2
- ・11/10(日)15:30～16:30(60分) セミナー室1



マトリョーシカ絵付け体験

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク

- ・11/9(土)11:30～13:00(90分) セミナー室2
- ・11/10(日)13:30～16:30(90分) セミナー室2



○付随イベント

日本の再発見が国際協力の第一歩

国際協力の達人である参加団体のスタッフたちが、実際に現場で使える日本文化を体験型イベントとして、来場者へ伝授しました。各イベントでは、達人たちがインタビュー形式で、国際協力と日本文化の関係について説明しました。

「炭坑節」

今年の「地球市民どんたく」では、スタッフが先導しながら来場者も一緒になって「炭坑節」を踊ることから始まり、最後は総踊りで締めとなりました。



「茶道」

身近な日本文化として、スタッフが茶道のデモンストレーションを行いました。来場者にも参加していただきました。



「おはしde豆つかみ」

ご来場の外国人や日本人、子どもさんへ参加を募り、お皿の大豆を「おはし」でつかんで別のお皿へ移す競争です。1位は外国人の方でした。



民族衣装の試着体験コーナー

例年大好評の民族衣装コーナーには、今年も多くの来場者がありました。参加団体等から提供された12ヶ国(ウズベキスタン・エジプト・バングラデシュ・モンゴル・ヨルダン・メキシコ・コロンビア・イラク・キルギス・中国・韓国・日本)19着のバラエティーに富んだ衣装ラインナップで、子供用衣装も好評でした。お気に入りの衣装を選んで着ていただいた後は、会場内で記念写真を撮影してプレゼント。皆さんに大変喜んでいただきました。

世界のコイン仕分け体験コーナー

世界各国のコインをどこの国のものかを考え国別に分ける体験コーナー。大人も子どもも遊びながら世界に触れる体験をしていただきました。

100円茶りTeaコーナー

1杯100円をチャリティーとして募金していただき、各国のお茶を楽しんでいただきました。名付けて「100円茶りTea」。提供したのは、8ヶ国(モンゴルの塩茶・バングラデシュのミルザパール茶・南アフリカのルイボス&ハニーディップティー・カンボジアのレモングラスティー・韓国のナツメ茶と五味茶・日本の抹茶・ケニアの紅茶・タンザニアの紅茶)9種類。多くの方々に喜んでいただき、募金もたくさん集まりました(2日間総額16,285円)。



民族衣装の試着体験コーナー



世界のコイン仕分け体験コーナー



100円茶りTeaコーナー

広報実績

チラシ、ポスターの製作・配布

チラシは13,000枚を印刷し、福岡市内の中学、都市圏の高校・大学、各公共施設、参加団体の関係先等に配布して広報に努めました。今年は、より手に取ってもらいやすくするため、A4サイズ4頁からA4サイズ1枚2頁のものに仕様を変更しました。

広報誌等への掲載

福岡市政だより(10/15号)、月刊情報誌「ACROS」(11月号)、福岡国際交流協会情報誌「レインボー(英・中・韓)」(11・12月号)

ラジオ

ラブFM(10月第4週～11月第2週「Rainbow Plaza Information」) NHKラジオ第1(10/23 参加団体より(特活)NGO福岡ネットワーク 原田氏、JICA九州古賀氏が出演 「博多屋台こまっちゃん」)

ITの活用

今年も地球市民どんたくのウェブサイトを立ち上げたほか、他の様々なサイト(福岡国際交流協会、ふくおか協働ウェブ、ASUMIN WEB、イベントバンク)やメルマガ(福岡国際交流協会、あすみんメルマガ)を利用し、また関係者のFaceBookなどインターネット媒体を通じての広報にも努めました。

PR街頭キャンペーン

民族衣装を身にまとった「地球市民どんたく隊」に福岡市の「福岡黒田武将隊」が加わって、天神地区でPRを行いました。(11/1夕方)

記者発表

今年も報道機関への情報提供として、福岡市政記者会加盟社等へ資料配付を行いました。【放映】NHK福岡放送局(11/9「おはようサタデー九州・沖縄」お出かけ情報コーナーで紹介)J:COM福岡(11/15～11/21「Home Town福岡」取材は11/9)



チラシ



PR街頭キャンペーン



11月9-10日 福岡市中央区 アクロス 国際交流フェスタ 地球市民どんたく2013 J:COM福岡

数字で見た「地球市民どんたく2013」

来場者数 延べ約1,000人(10日、11日とも約500人)

※1日目は、昨年と同程度でした。2日目は、午前中は雨に見舞われ遅い出足でしたが、午後は好調で、結果としては両日とも昨年並みの来場者となりました。
※来場者の7割強が初めての参加、3割弱が2回以上のリピーターでした。
※来場のきっかけは、最も多かったのが「友人・NGOの人に誘われて」で3割強、次に「チラシを見て」が2割強でした。(複数回答)会場の立地条件から通りすがりの来場者は見込めないと考えていましたが、2割弱の方がおられました。広報班によるFaceBookでの呼びかけが功を奏したのかもしれない。

スタンプラリー参加者数 265人(9日:129人、10日:136人)

ワークショップ参加者数 235人(9日:171人、10日:64人)

民族衣装の試着体験コーナー参加者数 123人(9日:62人、10日:61人)

物販売上額 282,285円

※今回は、13団体がフェアトレード商品などをブースで販売し、各団体の貴重な活動資金を得ることができました。

茶りTeaコーナー募金額 16,285円(2日間総額)

その他募金など

※日本円612円、外貨33枚の他、ベルマークや切手も多数集まりました。参加団体の活動に役立たせていただきます。

「地球市民どんたく2013」を終えて



ご挨拶

実行委員長 牧 忠孝(日本ベトナム友好協会福岡支部)

第15回国際協力フェスタ「地球市民どんたく」の成功を心から喜びたいと思います。参加団体各委員の熱意と事務局を担当された草場さんをはじめとする福岡国際交流協会スタッフの骨身を惜しまぬ献身的な努力のたまものでした。

11月9日・10日の開催当日は、「私の一歩でつながる世界」のテーマの下、祭提灯や万国旗に飾られた華やかな会場に工夫を凝らした参加団体のブースが並び、「炭坑節」踊りから始まりました。メイン会場での数々の催し、セミナー室での多彩な企画。会場には笑顔があふれていました。ボランティアの皆さんの誠意のこもったおもてなしぶりも見事。

この機会が国際交流への関心につながったと確信します。

この催しの特色は、企画段階から参加団体が主体的につくり上げる点にあります。実行委員各位および事務局スタッフの心意気と努力に敬意を表します。協力いただいた全ての関係者・来場者に感謝します。「地球市民どんたく」の更なる飛躍を祈念しご挨拶と致します。

発行 2014年2月

「地球市民どんたく2013」実行委員会事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館5F (公財)福岡国際交流協会内

TEL 092-733-5630 FAX 092-733-5635

chikyushimin@rainbowfia.or.jp <http://chikyushimin.jimdo.com/>